HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	センター活動記録、投稿規定等
Citation	北方人文研究, 16, 127-128
Issue Date	2023-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/88715
Type	other
File Information	16_08_Activities and guide for authors.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

センター活動記録（2022 年度）

2023 年 2 月 28 日

後援

①「第 22 回北アジア調査研究報告会」（2023 年 2 月 11 日～12 日、参加者 45 名、北海道大学文系 6 番教室、北アジア調査研究報告会実行委員会主催）

協力

①OGGs（One program for Global Goals、北海道大学の大学院特別教育プログラム）の RJE3 授業科目への協力

共同研究員の受け入れ

①崔麗娜（Cui Lina）、韓国学中央研究院韓国学大学院、2021 年 11 月 11 日～2022 年 10 月 27 日［前年度から］
②エマヌエレ・グリエルミーニ（Emanuele Guglielmini）、カリフォルニア大学バークレー校、2022 年 7 月 20 日～ 8 月 10 日
③タイラー・カントウェル（Tyler Cantwell）、トロント大学ミシサガ校、2022 年 9 月 13 日～12 月 11 日

［訂正］

『北方人文研究』第 15 号に掲載した共催③「樺太における日ソ戦争終結と知取協定について」（2020 年 12 月 19 日開催）は、2021 年度の活動であり、すでに第 14 号に記録されていました。削除します。

『北方人文研究』投稿規定

1．投稿資格
　投稿者は以下のものとする。
⑴文学研究科の教員・大学院生、本センター共同研究員
⑵上記以外で編集委員会が適当と認めたもの

2．投稿区分
　投稿区分は「論文」「研究ノート」「書評・紹介」「研究会報告」「資料」の５つとする。

3．審査
　投稿された「論文」および「研究ノート」は編集委員会で査読を行い、掲載の可否および区分を決定する。

4．原稿枚数
　原稿の種類に応じて下記の制限を設ける。（写真・図表を含む仕上がりページ数：おおむね１ページ和文40字×40行）

論文	20ページ以内
研究ノート	10ページ以内
書評・紹介	5ページ以内
研究会報告	2ページ以内

5．使用言語・ファイル形式
　使用言語は日本語または英語とし、原稿は原則としてワープロソフト（MS-WORD推奨）で作成する。これに依りがたい場合は編集委員会に相談すること。「論文」および「研究ノート」を投稿する際には英文要旨（タイトルを含めて１ページ）を提出すること。

6．提出方法
　投稿は電子形式とし、e-mailの添付ファイルで北方研究教育センター事務局に提出する。投稿された原稿・写真・図表その他は、掲載の採否にかかわらず原則として返却しない。

7．提出先
cnh-office@let.hokudai.ac.jp
『北方人文研究』編集委員会宛

8．電子公開
　『北方人文研究』への投稿をもって、当該論文等の著者は『北方人文研究』が電子公開されることに同意したとみなす。北方研究教育センターは本誌の内容を、北海道大学学術成果コレクション（学術情報リポジトリ）等で公開する。著者が論文等を他に転載する場合には、事前に編集委員会に連絡すること。

（2019年１月改訂）

『北方人文研究』執筆要項

　原稿には投稿票（別紙様式）を付ける。投稿原稿には題名のみを記し、２行空けて本文を始める（執筆者名等は記さない）。査読は匿名でおこなわれるので、本文中で執筆者が特定できるような表現は避ける。

　用紙設定はA４判とし、上下左右に3.0cmのマージンをとり、和文原稿は10.5ポイント文字で１ページに40字×40行で、英文原稿は12ポイント文字で１ページに40行横書きで書く。数字は原則として算用数字を用い、記号や符号は慣用に従うこと。

　原稿には使用言語による要旨（20行程度）を冒頭に付ける。

　本文中に文献に言及する場合は、カッコ書きで（著者姓　発行年：頁数）のように記すこと。参照文献は論文末に一括して作成し、著者名のアルファベット順か50音順として、記載は以下にならうものとする。和文文献と欧文文献を分けるかどうかは各投稿者の専門分野の慣例にしたがう。

　注は脚注とし、本文中に上付きの算用数字で通し番号を付ける。

　写真・図表は執筆者によって提供された画像・図表ファイルをそのまま使用する（JPEGが望ましい）。また、写真・図表の著作権や使用許可については執筆者が責任を負うこととする。写真・図表には、番号を付して本文中の掲載場所にその旨を明記することとし、それらのキャプションは本文末尾に掲載する。画像・図表ファイルは、本文とは別ファイルとして提出する。

　論文の内容には充分な倫理的配慮を要するが、考慮を要する場合には、必ず本文中に著者の責任のもとで倫理的配慮をおこなったことを明記する。

　著者校正は二回を原則とし、必要最小限の修正のみをおこなう。

（2019年１月改訂）